

学部 / 人間科学領域 / 社会の理解

科目コード:110201

法と社会 Law and Society

担当教員	桑畑 俊宏(非)										
実務経験											
開講年次	1年次前期	単位数	1			授業形態	講義				
必修・選択	選択	時間数	15								
該当ディプロマポリシー	(1)	(2)	(3)	○	(4)	◎	(5)	(6)			
Keywords	法、民法、刑法、消費者トラブル										
学習目的・目標	18歳に達し成人になるということは、自由が広がると同時に様々な責任を負う可能性が生じることを意味します。市民・医療従事者として必要な最低限の法的基礎知識を修得し、社会生活上の問題に対して各自が主体的に考え、適切な法的処理の手がかりを示すことができることを学修目標とします。										
授業計画・内容											
回	内容										
1	市民社会と法の役割										
2	法を使って考える 法分野の違いと法的思考										
3	契約とは何か 契約の成立とその効果										
4	契約トラブルとその対処										
5	交通事故をめぐる法的問題										
6	家族と法										
7	医療ミスをめぐる法的問題										
8	定期試験										
教科書	山下純司・深町晋也・高橋信行『学生生活の法学入門(第2版)』(2024年・弘文堂)										
参考図書等	長沼建一郎『大学生のための法学－キャンパスライフで学ぶ法律入門』(2018年・法律文化社)										
評価指標	コメントシート20点、期末テスト80点										
関連科目											
教員から学生へのメッセージ	法は、私たちの暮らしと密接に関連しています。本講義では、学生生活の中で巻き込まれそうなトラブルや新聞等で目に触れる身近な社会問題を例にとり、法がそうした問題をどのように解決するのかを扱います。新聞等を活用し、世の中で生起している事柄に関心を持つよう意識してください。										